

富津市立保育所自己評価書

(富津市立吉野保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間令和5年4月～令和6年2月

令和6年3月

| 項目 | 内 容 | 評価 A. B. C. D | 評価の根拠・改善策等 |
|----|-----|------------------|------------|
|----|-----|------------------|------------|

| | | | |
|----------|--|---|--|
| 生命の保持・健康 | <p>家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を密にして健康状態を伝え合い保育にあたった。 ・健康診断を受けられなかった場合、後日、嘱託医が診断をしてくれるようつなげたので、子どもの疾病予防になった。 ・事故対応マニュアルのチェック項目に沿って点検したり、危険箇所気づいたらその都度報告したりして、安全な保育環境を維持した。 |
| | <p>愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・休み明けや保護者の就労形態によって、子ども達が不安定になることがあったので個々に合わせて生活リズムを整えたり、一対一でゆったり関わったりしていき安心して過ごせるようにつなげた。 |
| | <p>様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気づきや発想を大切にし、子ども主体の遊びや行事を楽しむことができた。豊かな自然の中での遊びや、リズム等身体を動かす活動、制作や表現、わらべ歌や食育など様々な活動に親しむことが出来た。 |
| 人間関係 | <p>子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・保育士は子どもの思いや意見を肯定的に受け止めて関わっているため、子どもが伸び伸びと安心して自分の思いを表現できている。 |

| | | | |
|----|---|---|--|
| | 生活や遊びの中で、身近な人への関心を持ち、真似をしたり、ごっこ遊びをしたりして楽しめるようにしている。 | A | ・子ども達が、興味を持ったことを真似したり、再現遊びができるよう保育士が応対的に関わったり、絵本を読んだり、園外保育に出かけたりしたので、身近な人への関心を深めていた。また、模倣やごっこ遊びが発表会につながった。 |
| | 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。 | A | ・自分の思ったことを伝えられるよう保育士は見守ったり、気持ちを汲み取ったり、代弁したりして状況を見極めながら関わっていった。状況によっては子ども達で解決しようとする力もあるので子どもに任せていったことで折り合いがつけられるようになってきている。 |
| | 生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。 | B | ・子ども達が、遊びを通して（滑り台の使い方、鬼ごっこ等）ルールの必要性を感じられるよう保育士は関わっていったので、生活する中でのルールの決まりの大切さに気づいている。 |
| 環境 | 安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。 | B | ・自然事象（風、雲、寒い、氷、暖かい等）を感じる経験ができるようにしてきたので、氷作り に挑戦したり、つららを探しに行ったりした。 前半は、散歩する機会が少なかったので子どもが興味を持つよう働きかけ増やしていきたい。 |

| | | |
|--|----------|---|
| <p>生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。</p> | <p>A</p> | <p>・保育士は、子どもの思い描いたものが形にできるよう道具を用意したり、ヒントを出したりして関わっていたので、園庭で見つけた木の枝をくっつけて、形を作り飾ったり、木をたたいて音を鳴らし楽器にしたりしながら遊んでいた。</p> |
| <p>自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。</p> | <p>A</p> | <p>・季節や自然に触れて遊べるよう野菜を育てたり、生き物を飼育したり、散歩をしたりできるよう環境を整えた。園庭から見える富士山の雪に気づき、会話したり、つららを見てみたいと出かけたりした。保育士は、つららが見られる条件が整っていないことは分かっていたが、見つけれないことも経験の一つと捉え関わった。子ども達にとってこの経験は、どうしてつららがないのか考えたり、どうしたら氷ができるか調べて実験したりすることにつながっていた。</p> |
| <p>日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。</p> | <p>A</p> | <p>・保育士は、日常生活の中で自然に関心を持てるような環境設定をしたり、子どもが数量や図形、標識や文字に興味を示したことを捉えたりしていた。例えば、日々の遊びの中では、ブランコを漕ぎながら数を数えていると、自然に数字が分かるようになっていたり、形パズルで遊びながら形の名前が分かっていたりした。お当番活動の中では人数を調べるので、数字に興味を持ったり、お手紙ごっこか</p> |

| | | | |
|----|--|---|--|
| | | | ら文字を書きたいと思えるようになったりした。生活に関するポスターを掲示すると視覚からの情報が入りやすく、真似をしたり、生活の仕方が分かたりした。 |
| 言葉 | 保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。 | B | ・保育士は子ども達から話してきたことをまずは受け止めて共感する。トラブルが起きた時は良い悪いを決めず、双方の意見を聞き、子どもに解決させるよう促した。年齢、個人差もあり、言葉で伝えられないこともあるので、その子の気持ちを汲み取って対応している。年長児は言葉で伝えられるよう援助したので、今では自信を持って発言できるようになった。 |
| | 絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。 | A | ・毎日、子どもが選んだ絵本を読んだり、絵本の読み聞かせをしたりして楽しんでいる。移動図書館の利用、絵本の貸し出しなどを行い、親子で絵本を楽しめるようにしている。真似っこ、ごっこ遊び、再現遊びができるように関わっている。 ・日々の読み聞かせの積み重ねが絵本の楽しさや心地良さを感じさせている。また、絵本の一場面を真似して表現を楽しんでいる。 |
| | 保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。 | B | ・保育士が、一人ひとりの話を聞いて関わっていることで信頼関係ができ、何でも話せるようになった。 ・保育士は、子どものつぶやきを大事にしているので共感 |

| | | | |
|----|---------------------------------------|---|--|
| | | | <p>してもらっていると感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや話を聞いてほしいという意欲が高まっているので主張できているが、時にはぶつかることもあるので、状況によっては、代弁、気持ちの受け取りをした。自分から発信することが苦手な子や得意な子、興味の有無等、様々であったが、丁寧に関わることで親しみをもって聞いたり話したり、友達と共感したり全体で話を聞く力もついてきた。 |
| | 生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・保育士が「ありがとう」「ごめん」「貸して」「あとで」等、声かけていることで自然に子どもたちの言葉につながった。挨拶やトラブル等、状況に合った言葉を使えるようになってきている。 |
| 表現 | 水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・雨上がりの水たまりは、子ども達の好きな遊びに発展することを予想される活動と捉え、思いきり遊べるよう関わった。子ども達が作りたい遊びが広がるよう素材を考えさせながら楽しんだり、遊ぶ時間をたっぷりとれるよう配慮したりした。 |

| | | |
|---|----------|--|
| <p>音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。</p> | <p>B</p> | <p>・リズム遊びは全クラス揃ってやろうとすると時間を取るのが難しく、回数が若干少なくなってしまった。今後、小グループで行ったり、午後に行う等、時間の工夫をしたりしていきたい。わらべ歌遊びは、一対一での関わりの中でやっていたが、みんなで遊ぶ集団遊びが少なかったので、意識して取り入れていきたい。</p> |
| <p>生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。</p> | <p>A</p> | <p>・タイヤ山に登り、風の音、肌にあたる感覚を感じたり、木の穴に木の実を落とすと違う穴から出てくる様子を見て不思議に思ったりする、子どもの発見や思いに共感していたので表現豊かな言葉が多かった。感触を楽しむようにタピオカ粘土等を用意して低年齢でも遊べる環境を整えたので、夢中になり遊び、感触を楽しむことができた。</p> |
| <p>生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。</p> | <p>B</p> | <p>・子ども一人ひとりの発見や考え等をプラスに捉えるよう関わったので、子どもの伝えたいという気持ちが育っている。 ・子どものやりたい気持ちを引き出していったので、自分で目標を決め（鉄棒、跳び箱等）に挑戦をしている友達を応援したり、できたという達成感を味わったりしていた。</p> |

| | | | |
|---------|--|---|---|
| 保護者への支援 | 一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている | A | <ul style="list-style-type: none"> ・保育参加を年2回実施した。1回目は6, 7月の保育所に慣れた時期の様子をみていただき、2回目は10月の園外保育を体験してもらいダイナミックに遊ぶ姿を見ていただいた。子どもの保育所での姿が見られて良かったとの意見が聞かれた。 ・個別面談を行ったり、保護者からの相談を受けたりして、共に成長を喜び合うことができた。 |
| | 家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・保育日誌、児童票、療育計画等に記録している。 ・園児・家庭の状況に合わせたカリキュラムを作成し実践に生かしている。 |
| | 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に保護者が話しやすいよう職員が環境に配慮した。連絡帳で記載されていたことには口頭でも答えるようにした。また、保護者の意見は、職員間で共有し、速やかに対応した。 ・保育所に関する利用者アンケートでは、「困ったことを相談しやすい」との意見もある一方で「保育者が日々の関わりの中で、関係を取ろうとしているように感じられない」とのご指摘を受けている。今後も保護者の皆様とコミュニケーションを取り、関係性を築けるよう努めていくようにする。 |
| 行事 | 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味関心あるものを生かし展開した。行事の中で何を育てたいか、何を体験させたいか意味を考え、季節 |

| | | | |
|-----|-----------------------------|---|---|
| | | | の伝統なども大切に考え実施した。 |
| 行事 | 保護者の願いや意見を取り入れている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所に関する利用者アンケートや保護者からの意見等、直接聞きながら対応をした。 ・コロナ禍による行事の制限がなくなり、通常になったことで参加行事が再開できた。「子どもの様子が分かり良かった」との意見もあったが、「働く親にとっては参加行事が多い」との意見もあり、参加しやすい時間帯の追加等、検討している。 |
| | 計画・実施・評価・改善の体制をとっている | A | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に行事に取り組めるように、日々の保育から進めていき、職員間で共通理解できるよう会議を持ち計画して、進捗状況を確認しながら実施した。また、職員間で振り返りをして反省・改善点を見出し、今後に活かしている。 |
| その他 | 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。 | A | 個人情報の適正な取り扱いを職員全員に周知している。また、適切に保管している。 |
| | 園内研修を実施している。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修では、子ども本来の力が発揮されるにはどう関わればよいか？や、リスクマネジメント等について研修を行い職員の共通理解、保育の向上につなげた。 |
| | 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・写真付き記録の活用や掲示板、連絡帳で子どもの活動の様子や感染症の流行を知らせ、予防について迅速に知らせることができた。冬場の時間外保育時には暗く見づらい |

| | | | |
|--|--|--|-----------------------------------|
| | | | との保護者からの意見があったので、写真付き記録を家庭に貸し出した。 |
|--|--|--|-----------------------------------|